

結束バンドを再生する（縫製系にて）

2019.12.03/2024.06.06 改訂

トミー・マック

1. 要点

人形などのぬいぐるみの足元は結束バンドで固定されています。この結束バンドは約 300mm の長さのものもあります。また外への出っ張りが少ないように結束部が小さくなっており、100 均などでは手に入りません。従って今までは、その結束バンドを細いステンレス線を使用し再生していました。

しかしステンレス線は、端末を振じてから先端の尖りを安全確保のために、グルーなどで保護する必要があります。今回はその安全確保の必要のない、縫製系を使った結束バンドの再生方法です。

2. 方法

実際のおもちゃでなく、結束バンド（以降バンドと言います）単品を使って説明します。

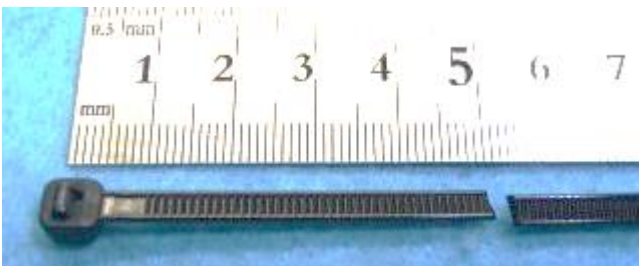
（1）結束部の切断

差し込み側の板状部をニッパーなどで切断します。



（2）板状部を切断

結束部から約 50mm の位置で切断し、 $\phi 0.7$ のドリルの刃で孔を明けます。（両端端面の 2 か所）



（3）縫製系の孔通し

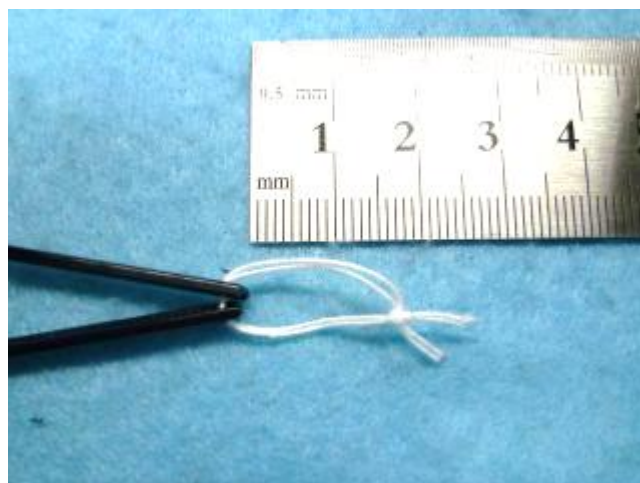
2本の切断したバンドの孔に、糸通しの細いステンレス線を通し、繋ぐバンドの幅を約 30mm として縫製糸を約 200mm ($30\text{mm} \times 4 + \alpha$) 用意し、ステンレス線のスリットに入れて縫製糸を二つ折りにします。そして、糸通しを引っ張り縫製糸をバンドの孔を通します。



結束バンドを再生する（縫製系にて）

（4）縫製系の処理

バンドの孔を通った縫製系の先端をハサミで切り、2本になった縫製系を約 30mmの長さに結びます。



（4）残った板状部の取り去り

バンドを広げ、結束部に入っていた板状部を取り去ります。

縫製系で繋いだので、ステンレス線の方法のようにグルーでの安全保護は要りません。



（5）収縮チューブの被せ

縫製系で繋いだままでは筒状の挿入部に入れる時、繋いだ両端のバンドの角が筒部に引っ掛かり入れにくいです。角を無くすため収縮チューブを被せ収縮します。



終わり